

されているのか伺いた

**答** 航路

存続を前提に航路事業者、県並びに市で架橋

後の協議を進め、国に離島補助航路としての要望を行っているが、船の便数等については見直しもあり得ると思われる。また、路線バスの島内への延伸、島内バスの島外への延伸については長崎バスと協議を進め検討している。



(仮称) 伊王島大橋架橋状況

**長崎市民会議**

**被爆体験者支援事業の再検証について**

**問** 過去の健康調査から時が経過していることから、医学的に再検証の是非を含め有識者による検討委員会設置の考えがないか伺いたい。

**答** 県、市両議会の代表、原援協における国への要望の結果、平成21年度に被爆体験の記憶要件が撤廃されるなど一定の改善がなされた。今後、研究の進展等により原爆による放射能の影

響が見出せる可能性が出てくれば、検討委員会を設置し、新たな方策を検討したい。

**市立桜ヶ丘幼稚園の廃園方針の一時凍結**

**問** 幼児教育の重要性は何事よりも優先すべき課題であるが、観光行政や公共工事の予算との格差はあまりにも大きい。幼稚園、保育園の今後に関する報告書を尊重されるなら、廃園方針の一時凍結を判断のうえ、地域との話し合いの姿勢に立ち戻られる考えはないか伺いたい。

**答** 就学前児童が減少する中で、市全体の幼稚園のあり方及び子育て政策のあり方について、さまざまな委員会や審議会における専門家や市民の意見を十分に尊重したうえで、総合的に判断し、市立桜ヶ丘幼稚園の廃園方針を決定したところであり、ご理解願いたい。



平成 24 年 3 月廃園予定の桜ヶ丘幼稚園

**気走会**

**国指定重要文化財旧長崎英国領事館の保存整備について**

**問** 国指定重要文化財旧長崎英国領事館は、明治後半期の洋風建築としては貴重で、近代日本外交史の一端を示す資料としても価値が高い。平成5年には野口彌太郎記念美術館として開館したが、老朽化のため閉館となっている。この保存整備の考え方について伺いたい。

**答** 早急な修理着手の必要性を認識し、準備を進めているが、国指定の重要文化財の保存整備は、国、県、市に費用負担が生じるため協議を重ねている。本市の財政状況から県の助成なしでは厳しいものがあり、県と協議を重ね早期の保存整備に着手したい。

**草の根クラブ**

**消防職員の今後の採用計画について**

**問** 消防職員については、50歳以上の職員が4割以上を占める状況であ

り、この年代の偏りを解消し、消防技術の継承にも対応できる構成に早急にすべきではないか。

**答** 消防職員数は、現場活動に支障を来さぬよう配慮し、適正な人員配置に努めてきた。今後の採用については、採用年齢に幅を持たせ、採用人員の平準化に努めるなど、安定した消防力の確保に取り組んでいきたい。

**国民新自由クラブ**

**平和祈念式典への参加**

**問** 広島・長崎子ども会親善交歓会で広島市を訪問した本市の子どもたちが、今年、広島平和記念式典に全員招待された。広島市教育委員会や子ども会からは、来年の本市式典への参加が要望されており、本市も対応すべきではないか。

**答** 長崎の平和祈念式典に広島市の子どもたちが参加することは、両市の交流の観点からも、若い世代への平和発信、被爆継承の観点からも、大変意義があると考えているので、参加できるように検討していきたい。